

## MISst-X06 日本の総人口のピークは 平成 16 年 12 月の 1 億 2783 万 8000 人 !

日本の総人口は、予想よりも早く 2004(H16)年 12 月にピークを迎えました。

2006 年 12 月 27 日に総務省が発表したところによると、2005 年 10 月の国勢調査が確定したのを受けて毎月の推計人口を改定した結果、2004 年 12 月の総人口が最も多かったことが明らかになったということです。

その **2004 年 12 月の日本の総人口は 1 億 2783 万 8000 人**です。

ちなみにその 10 ヶ月後 **2005 年 10 月国勢調査の総人口は 1 億 2776 万 8000 人**でした。

さて、総人口が減り続けることで、労働人口の減少および消費形態の変化による経済的な問題が起きてくると行政サービスの不足による社会生活基盤の揺らぎや秩序・安全への不安を導くことになることなどが危惧されています。

しかし、その問題の本質は単なる人口の減少にあるのではなく、人口比率の大きな変化にあります。

いわゆる「少子高齢化」ということであり、若年層の人口が減り続ける逆ピラミッド型の極めてバランスが悪く不安定な人口比率になることで現在だけではなく将来への不安の拡大が予想されます。「人口減少」と「少子高齢化」は関連はあるが別の課題だとする考えもありますが、いずれにせよ既に始まっている問題であり、我々日本人にとっては大いに悩まなければならない事態になってしまったということでしょう。

この、総人口のピーク（1 億 2783 万 8000 人）を迎えた時点から日本人が悩むことになった。

すなわち、

**2004 年 12 月、総人口がピークを迎えたことで日本人に悩み発生 !**

ってことです。

↓

2004 年 12 月に日本人に悩み発生 !

2004 年 12 月 日本のひとに なやみ はっせい !

2004 年 12 月 日本のひとになやみはっせん !

2004 年 12 月 1 2 7 8 3 8 0 0 0 !

2004 年 12 月 — 1 2 7 8 3 8 0 0 0 !

2004 年 12 月 — 1 2 7, 8 3 8, 0 0 0 人 !

**2004 年 12 月の日本の総人口は 1 億 2783 万 8000 人でした !**

参考: 日本の人口は世界人口の 2.0%にあたり、国別の人口数順位は中国、インド、アメリカ、インドネシア、ブラジル、パキスタン、バングラデシュ、ナイジェリア、ロシアに次いで 10 位である(2007 年)